

令和6年度全日本少年少女武道（空手道）錬成大会 申し合わせ事項

本大会は全日本空手道連盟の定める空手競技規定にしたがって行うが、形競技の反則負け及び減点に関しては下記のとおり申し合わせる。

記

1. 形演武開始の礼、及び終了の礼をしなかった場合（反則2）

反則とせず、減点要素とする。

2. 演武中に帯が落ちた場合（反則5）

反則とせず、減点要素とする。

3. 審判妨害（安全性のため審判員が動かざるを得なかった場合、審判員に接触した場合等）（反則4）

反則とせず、減点要素ともしない。

4. 3名を下回った場合

演武をすることは認めるが採点はしない。

以上

なお、反則に該当する場合は、主審は副審を招集して確認をする。また、反則と判断された場合は、採点を行わない。

減点条項に関しては、大きなミスがあった場合、主審は副審を集合して協議し、各審判員の判断で採点を下す。また、小さなミスは集合せず、各自で判断する。